

## 「公益財団法人千葉県産業振興センター中期構想」(第6次行動指針)

期間:令和5年度から概ね4年間

### はじめに

現在我が国は、急速なデジタル化の進展やSDGsの実現に向けた動き、ライフスタイルの多様化等の目まぐるしい変化に直面しており、このことは地域の経済・雇用を支える中小企業にも大きな影響をもたらしています。

千葉県では、中小企業を取り巻く環境の変化や課題に対し、各種中小企業支援施策を着実に推進するため、「第5次ちば中小企業元気戦略」を令和5年3月に策定し、「成長の後押し」「経営基盤の強化」「人材の確保・育成・定着」「地域活性化」の4つを「基本的方向」として施策横断的に取り組むこととしました。

このような状況を踏まえ、当センターでは、公益財団法人として中小企業支援施策を着実に実施するため、この中期構想(第6次行動指針)を策定しました。

### <基本理念>

当センターは、企業、大学、金融機関及び行政機関等との連携のもと、新事業・新産業の創出及び発展、経営基盤の強化、産業人材の確保・育成等の支援を図ることと、県内中小企業等の持続的な成長・発展に貢献します。

### <行動指針>

当センターは、以下に基づき中小企業等の様々なニーズに応じたきめ細かな支援の実施に努めます。

#### 1. サービスの質の向上 ～現場訪問と傾聴・対話～

現場訪問や傾聴・対話の充実を図り、必要なサービスを迅速かつ適切に提供するとともに、中小企業等からの意見等を真摯に受け止め、提供するサービスの改善・向上に努めます。

#### 2. 支援スキルの強化 ～「伴走者」としての能力向上～

県や国の中小企業振興施策の実践部隊として現場で必要とされる専門知識や支援スキルを確保し、企業の「伴走者」として課題設定・解決が図られるよう研鑽に努めます。

#### 3. 柔軟な連携体制 ～枠組みを超えて～

中小企業等の様々なニーズに応じるため、部門の枠組みにとらわれることなく柔軟に連携して取り組みます。また、経営支援にも注力している金融機関をはじめ、地域プラットフォームや各ネットワーク等を活用し、各産業支援機関との連携を更に強化していきます。

## <目指すべき姿>

経営環境の変化が激しく「経営力そのもの」が問われる現在における中小企業支援の在り方として、従来の課題「解決」型の支援に加え、何を課題として認識・把握するかという課題「設定」型の支援の重要性が増してきています。これには経営者の方々の対話を通し信頼の醸成、本質的課題の掘り下げが重要となります。これが経営者の方々の「気付き」「納得」に繋がり、内発的動機付けが得られることにより、潜在力を発揮することになると考えます。

このことから、当センターは、「傾聴と対話」「自走化のための内発的動機付け」を中心とし、点ではなく線となるよう継続的な「伴走支援」を行ってまいります。

その上で、小規模事業者・中小企業等のニーズ把握に努め、「中小企業の伴走者」として真に必要とされる組織として成長していきます。

## <基本理念>

中小企業の持続的な  
成長 発展に貢献

## <行動指針>

- ・「サービスの質の向上」
- ・「支援スキルの強化」
- ・「柔軟な連携体制」

## <目指すべき姿>

「中小企業の伴走者」

## ＜方向性と取り組み＞

当センターは、地域経済を支える中小企業の持続可能性を高めるとともに、社会・経済環境の変化に対応し、「第5次ちば中小企業元気戦略」に沿って4つの方向性を掲げ、それぞれの課題設定と解決に向け取り組んでいきます。

### 1. 成長の後押し

起業・創業や産学官連携・企業間連携、成長産業への参入、取引拡大等の意欲的な取組の促進を通じて、中小企業等の成長の後押しを行ってまいります。特に創業支援、DX推進に注力してまいります。

- ・創業支援に関しては、「チャレンジ企業支援センター」、「千葉県よろず支援拠点」を窓口としての各種相談対応、創業助成金の交付、「東葛テクノプラザ」でのインキュベーション施設運営、「ベンチャークラブちば」での資金調達、販路開拓支援等を通じて、入口から出口までのステージに応じ切れ目なく支援してまいります。
- ・「ちば新事業創出ネットワーク」等を通じ、「産学官連携」「産産連携」の促進、競争的資金獲得による研究資金の確保等の支援を行い、新事業・新産業の創出を推進いたします。
- ・「医療機器等開発・交流拠点創出事業」を通じ、中核的医療研究機関との連携を強化し、健康・医療関連産業への新規参入や医工・産学連携による商品開発を支援してまいります。
- ・中小企業の取引拡大及び受注量の確保を図るため、下請取引専門指導員等を配置して発注案件の開拓に努め、商談会の開催等で効果的なあつせんを行ってまいります。

### 2. 経営基盤の強化

円滑な資金調達や事業承継、リスクマネジメント等多様な経営課題に対応し、中小企業等の経営基盤の強化を支援してまいります。

- ・様々な経営課題にワンストップで対応する窓口としての「チャレンジ企業支援センター」及び小規模事業者への支援をチームで行う「千葉県よろず支援拠点」を設置し、地域の支援機関及び金融機関と連携し支援を強化しつつ、専門家を活用した課題解決支援など、経営基盤強化のためにきめ細かく支援してまいります。
- ・「事業承継」に関し意識向上を促すとともに、助成金やセミナー開催等で具体的にアプローチしてまいります。
- ・セミナーの開催により、「事業継続計画(BCP)」への取り組みの促進を図ってまいります。

### 3. 人材の確保・育成・定着

多様な人材が活躍できるように、中小企業の経営や成長に必要な人材、中でも技術革新やデジタル化といった社会変化に柔軟に対応できる人材の確保・育成・定着を支援してまいります。

- ・「ジョブカフェちば」を拠点とし、セミナーやイベント開催等を通じて若年求職者の就労支援及び企業の採用・定着活動を支援してまいります。
- ・「プロフェッショナル人材戦略拠点」を設置し、県内中小企業におけるプロフェッショナル人材ニーズの掘り起こしや、大都市圏のプロフェッショナル人材とのマッチング支援等を行ってまいります。

### 4. 地域活性化

地域づくり・まちづくりと連携した課題解決や地域活性化を促進するとともに、地域資源を活用した新商品開発等を支援してまいります。

- ・県内の条件不利地域において、県が地域再生計画に定める社会的事業の分野で、地域課題の解決を目的として新たに起業する者に対して補助を行うとともに、事業の立ち上げ等に関する課題に対し、専門家を派遣し課題解決を支援してまいります。
- ・「ちば農商工連携事業支援基金」の運用益により、県産農林水産物を使用した新商品・新役務・特産品開発に対する助成を行い、農商工連携による新事業の展開を支援してまいります。
- ・農林漁業者と連携体を組み、又は地域資源を活用し、新商品の開発やブランド化に取り組む中小企業者等に対し、事業費の一部を助成いたします。

#### <横断的視点>

社会経済環境の変化に鑑み、以下を「横断的視点」として持ち、各種支援を行ってまいります。

1. 中小企業DX推進、啓発
2. 中小企業SDGs推進
3. グローバルな動きへの対応
4. 多様化するライフスタイルへの適応促進